

平成 18 年 3 月 30 日

報道機関各位

株式会社 りそな銀行
株式会社 近畿大阪銀行
大阪信用金庫
大阪市信用金庫
摂津水都信用金庫
十三信用金庫
大阪厚生信用金庫
独立行政法人 中小企業基盤整備機構
オリックス株式会社

「おおさか中小企業再生ファンド」の設立合意について

大阪府内 7 金融機関（りそな銀行、近畿大阪銀行、大阪信用金庫、大阪市信用金庫、摂津水都信用金庫、十三信用金庫、大阪厚生信用金庫）は、「地域密着型金融推進計画」における早期事業再生への取り組み強化の趣旨を踏まえ、このたび、中小企業基盤整備機構およびオリックスと共同出資による地域型中小企業再生ファンドを設立することについて、合意しましたのでお知らせいたします（設立は 4 月中を予定）。

本ファンドは、近畿経済産業局主催の説明会を経て検討を重ねてきた結果、設立に至ったものであり、官民の経営資源やノウハウを集約して地域中小企業の再生を図り、ひいては大阪府の地域経済の発展・活性化に寄与することを目的としています。

本ファンドの投資先は、再生の可能性がある先（例えば、過剰債務等により経営状況が悪化しているものの、本業には相応の収益力があり財務リストラや事業再構築等により再生が可能な中小企業）とし、大阪府中小企業再生支援協議会による再生計画策定支援を受けることを原則とします。大阪府中小企業再生支援協議会は、平成 15 年 2 月に経済産業省の委託事業として設置された組織で、大阪府の中小企業の再生支援を目的としています。

本ファンドの規模は 25 億円、投資先は 15 件程度になるものと想定しています。また、本ファンドは、中小企業基盤整備機構から 50%、残り 50%を府内金融機関及びオリックスから出資を受け、中長期的に債権又は株式等を保有しつつ、投資先企業の業況や事業の進捗状況等を継続的に把握し、経営・技術等に関する支援を行いながら再生を図ってまいります。なお、本ファンドの運営は、企業再生支援の実績とノウハウを有するオリックスが行います。

【ファンドの概要】

・ファンド名	： 「おおさか中小企業再生ファンド」	
・ファンド出資者・金額	出資者	出資額
	りそな銀行	4.0 億円
	近畿大阪銀行	2.0 億円
	大阪信用金庫	0.5 億円
	大阪市信用金庫	0.5 億円
	摂津水都信用金庫	0.5 億円
	十三信用金庫	0.2 億円
	大阪厚生信用金庫	0.1 億円
	中小企業基盤整備機構	12.5 億円
	オリックス	4.7 億円
・ファンド規模（合計）	： 25.0 億円	
・ファンド運営会社	： オリックス	

【ファンドスキーム図】

